

## 発刊にあたって

平成23年3月11日午後2時46分、牡鹿半島の東南東130km付近を震源として発生した東北地方太平洋沖地震は、経験したことのない極めて烈しい揺れとその後に襲来した巨大津波により、石巻広域管内に未曾有の被害をもたらしました。犠牲となられた多くの住民の方々並びにご家族の皆様に、心から深く哀悼の誠を捧げるものであります。

特に津波による被害は甚大、深刻なものであり、当石巻広域消防は組織をあげて、まさに命懸けの活動により、助けを求める多くの住民の救助にあたりました。職員の多くは、自らの家族や自宅が被災しながらも、助けを求める多くの住民の救助活動にあたり、その使命を貫きました。

また、消防庁舎が流され、更には消防車両も流されるなどの消防力の低下により、困難な活動を強いられるなか、発災翌日には、全国各地の緊急消防援助隊の皆様が応援に駆けつけていただき、大きな支えとなりました。

甚大な被害と尊い犠牲をもたらした未曾有の大震災において、当広域消防をはじめ各関係機関は、不眠不休の活動により極限の対応を行いました。この経験、記憶を今後の災害対応の教訓となるよう、石巻広域の消防活動記録を編集いたしました。本記録誌の作成にあたりご協力いただきました皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。

結びに、本記録誌が圏域住民の安心安全を守るべく、今後の消防防災体制の一層の充実強化に寄与することを期待いたします。

平成24年9月11日

石巻地区広域行政事務組合

理事長 石巻市長 亀山 紘

